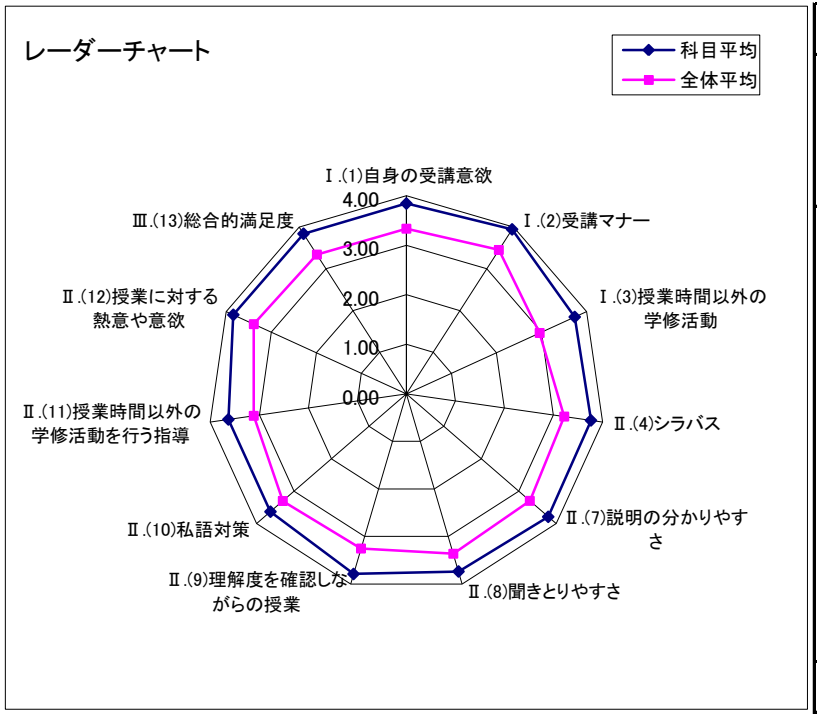
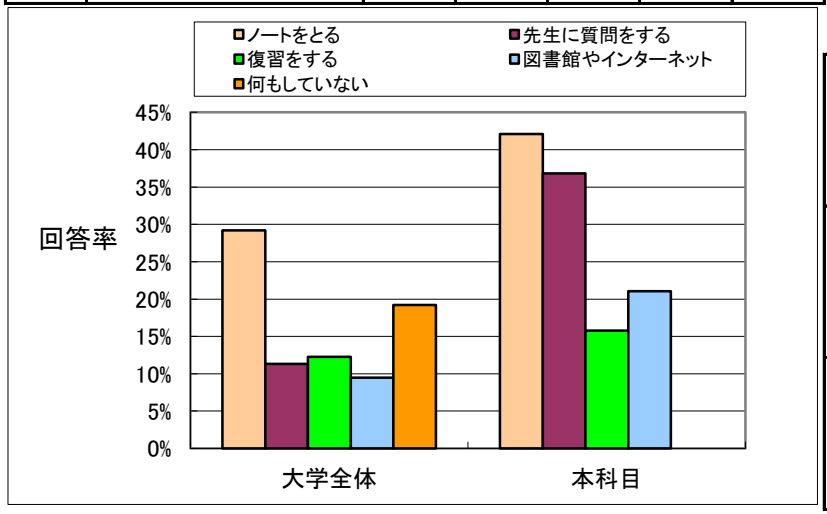
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.84	3.33
	Ⅰ.(2)	3.95	3.45
	Ⅰ.(3)	3.74	2.96
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.76	3.22
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.79	3.30
	Ⅱ.(8)	3.74	3.36
	Ⅱ.(9)	3.79	3.25
	Ⅱ.(10)	3.63	3.30
	Ⅱ.(11)	3.63	3.11
	Ⅱ.(12)	3.84	3.39
総合評価	Ⅲ.(13)	3.84	3.34

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

<※複数選択可項目>		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(14)	授業を理解するための工夫	42.1%	36.8%	15.8%	21.1%	0.0%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.84	3.25
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(12)	3.74	3.28
総合評価 Ⅲ.(13)	3.84	3.34

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度　後期
時間割番号	3306
科目名	日本語　語彙・読解Ⅱ
教員名	

①授業計画の達成度について

授業計画に沿って内容を進め、難易度などを確認しながら内容を調整した。学生が満足できる授業だと確信している。本科目はほぼ100%の出席率に達し、学生の学習意欲がみられる。学習効果を向上させるため、いろんな工夫をした。学生の受講マナーもよくて、遅刻などの現象もなかった。授業に対して学生自らも提案や要求などもあり、意義のある授業になっているはず。学生の評価はすべて授業アンケートに反映しており、各項目において全体平均を大きく上回る。

②授業の進め方について

授業において、なるべく声や言葉、説明、板書を明瞭にした。学生の理解度を確認しながら進度を進めた。新学期当初から席順を決め、講義のマナーを要求した。授業中私語なども少なくて、良い学習環境で講義することができた。教材の使用も学生に応じて調整した。すべての項目において学生の満足度がみられる。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

学生の自由記述から、授業内容に対して満足度がみられる。また、教員の人柄や意欲にも評価した。今後、教材の使用などについてもっと調査、工夫して効率的、効果的な学習にしたい。残念なことに、本学にはLL教室がないため、語学教育に悪影響を与える。

奈良産業大学